

佐野市DX推進計画(案)概要

趣旨

少子高齢化や人口減少などの課題に対応するためには、行政や企業、あらゆる市民がデジタル技術を活用して、課題解決に取り組み、ライフスタイルやニーズに合った心豊かな暮らしの実現を目指すことが重要です。そこで、本市の自治体DXを推進し、市民の利便性向上や業務効率化を図り、更なる市民サービスの向上を目的として、「佐野市DX推進計画」を策定します。

位置付け

国や栃木県のデジタル化に関する指針や施策などを踏まえ、「第2次佐野市総合計画」等との整合を図り、本市のDXを積極的に推進するための個別計画として位置付けます。
計画期間は令和8年度から令和11年度までの4年間です。

背景

国・県の動向

- ・国:令和7年6月に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」において、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が改めて位置付けられました。
- ・県:令和3年3月に「とちぎデジタル戦略」を策定、令和7年2月に「栃木県スマートシティ構想」を策定しました。

本市における現状と課題

- ・年ごとに「年少人口」と「生産年齢人口」が減少する一方で、「老齢人口」が維持・微減する見込みです。
- ・将来的に、安定した行政サービスを提供し、更に多様化する市民ニーズに対応するためには、業務やシステムの標準化やクラウド、AIなどのデジタル技術を活用し、市民サービスの向上と行政事務の効率化を両立させる必要があります。

基本方針

誰一人取り残さない、安全・安心で人に優しいデジタル化

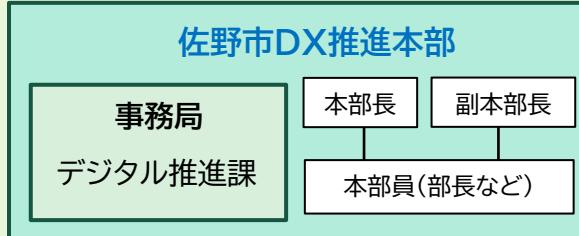
取組の三本柱

- ①市民の利便性向上に向けた取組
- ②行政の効果的・効率的な運営に向けた取組
- ③地域のデジタル社会実現に向けた取組

計画の推進

計画の推進体制

- ・佐野市DX推進本部の設置



各課室など

研修・支援
報告・相談

連携

検討依頼
報告

計画の推進方法

・計画を進めていくにあたり、世界情勢、市場、技術、市民ニーズの急激な変化にアジャイル型アプローチで必要に応じて適宜見直しを図りながら、機動的かつ柔軟に取組を実施していきます。

※アジャイル：ビジネスやIT分野で、変化に素早く対応するための考え方や手法のこと。

基本方針を実現する取組と具体的事業

市民の利便性向上に向けた取組

- 1.行政手続のデジタル完結の推進
- 2.マイナンバーカード利用の推進
- 3.キャッシュレス決済の推進(公金収納におけるeL-QRの活用)
- 4.スマート窓口の実現(フロントヤード改革)
- 5.情報提供手段の充実

行政の効果的・効率的な運営に向けた取組

- 1.AI、RPAの活用
- 2.ドローンなどの活用
- 3.自治体情報システムの標準化・共通化（ガバメントクラウド）
- 4.内部事務デジタル化の推進
- 5.ペーパーレス化の推進
- 6.セキュリティ対策の徹底
- 7.デジタル人材の育成
- 8.データ利活用の推進(EBPMの推進)

地域のデジタル社会実現に向けた取組

- 1.公衆無線LANの充実
- 2.情報格差(デジタル・デバイド)対策
- 3.新たな通信技術の活用
- 4.デジタル地域通貨の活用
- 5.公共交通の助成制度デジタル化・高度化
- 6.デジタル教育の推進
- 7.地理情報システム(GIS)の活用



発行 栃木県佐野市 編集 佐野市 行政経営部 デジタル推進課

〒327-8501 栃木県佐野市高砂町1番地 TEL 0283-20-3026 FAX 0283-22-9104 E-mail digital@city.sano.lg.jp

URL <https://www.city.sano.lg.jp/>